第一礼拝次第

ﾒｯｾｰｼﾞ:渡真利彦文牧師
ﾌﾟﾚｲｽﾘｰﾄﾞ:郭永東牧師

前　奏		
頌　栄	５４０	会　衆
主の祈り		会　衆
プレイズ	「感謝と喜びを」「花も」	会　衆
聖書朗読	ﾃｻﾛﾆｹ第一４：13～5：11	司　会
祈　祷	（新約聖書ｐ377）	司　会
賛　美	聖歌６３４	会　衆
メッセージ	「主が来られる日」	牧　師
祈　祷		牧　師
賛　美	４８８	会　衆
入会式		
聖餐式		
献　金		
報　告		司　会
頌　栄	新生６７２b	
祝　祷		

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

第二礼拝次第

ﾒｯｾｰｼﾞ：郭永東牧師
司　会：渡真利彦文牧師
聖　書：ホセア書２：16～25
（旧約聖書ｐ1403）
ﾒｯｾｰｼﾞ：「アコルの谷と希望の門」
ﾌﾟﾚｲｽﾞ：「花も」「この愛こそ」
賛　美：新生３０９　新生６３４

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

ファミリー礼拝

ﾒｯｾｰｼﾞ：渡真利彦文牧師
聖　書：創世記１：1～2：3
ﾒｯｾｰｼﾞ：「世界の始まり」

＜巻頭言＞

ひとり子を十字架につけられる程の愛②

（1999 年２月号の日本国際ギデオン協会の会報誌にお寄せくださった小坂忠先生のお証し）

そして今まで神なんか気休めに過ぎないと思っていた私が、急に神について知りたくなったのです。早速家に帰って、聖書を探しました。祖母がプレゼントしてくれた聖書があったのです。それがギデオンの聖書でした。聖書を読めば、神について知る事が出来ると思ったのですが、すぐに自分では無理だと思いました。それで日曜日に礼拝に行くことにしたのです。当時ミュージシャンとして仕事をしていた私には、日曜日の朝は起きるのがつらかったのですが、それでも家内に助けられて教会に通い続けました。「神はじつにそのひとり子をお与えになった程に世を愛された」。イエス・キリストの十字架と神の愛を初めて知りました。私は娘の苦しみの声を聴いているのが耐えられませんでした。出来る事なら、娘と代わって自分が苦しみを受けてあげたいとさえ思ったのです。ひとり子を十字架につけてさえ私達を救おうとされた神の愛の大きさが分かったのです。神の愛を知ったら、嬉しくて涙が出て来ました。神の愛を無視し、神と無関係に生きて来た自分の人生を悔い改め、その愛を受け取ったのです。それからは音楽でこの神の愛をお伝えするために献身して働き始めました。1988 年にはミクタムと言う音楽ミニストリーを設立し、各地でコンサート伝道をしています。ミクタムしが主催する「出会いのコンサート」では、来てくれた若者達に、ギデオンのご協力を得て聖書を配布させて頂きました。その中からかつての私の様に聖書を通して神との出会いが始まったらと願っています。現在は、1991 年から自分の母教会で牧師として使える様になりました。主の御名を崇めます。